

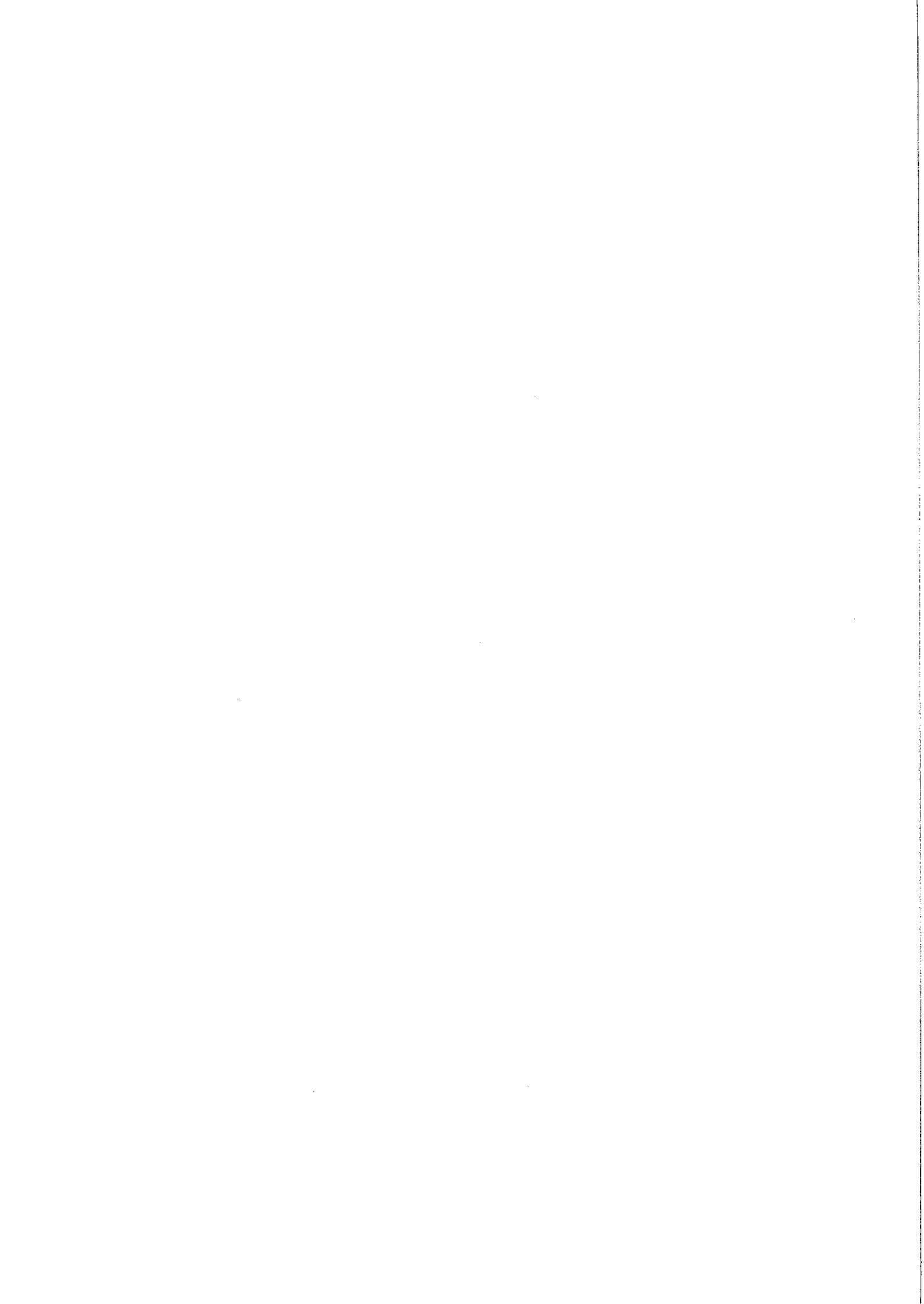
令和元年度

(平成31年度)

# 事業報告書

社会福祉法人ゆきわり会

事業種別	幼保連携型認定こども園・一時預かり事業
事業所名	SHINJO



## 2019年度 事業計画書 認定こども園 SHINJO

### 目的及び運営方針

社会福祉法人 ゆきわり会の運営する認定こども園SHINJOは、義務教育及び保育の基本に基づいて一体的に展開される生活を通して健全な心身の発達をはかりつつ、生きる力の基礎を育成するため、義務教育及びにその後の教育の基礎を培うとともに、こどもの最善の利益を考慮し、その生活を保障するとともに保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とする。本園は、就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び青森市幼保連携型認定こども園の設備運営に関する基準を定める条例その他の関係法令を遵守して運営を行います。

### 教育・保育目標

- 《思いやりのある子ども》
- 《素直に表現できる子ども》
- 《豊かな感性をもつ子ども》
- 《健康でたくましい子ども》

- ・人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして敬う心を育てるとともに、自主、協調の態度を養う。
- ・くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育てるまた、日常生活の中で自分の思いを表現する事から、我慢する心・挑戦していく心を養う。
- ・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話たり、聞いたりする意欲を育て、言葉に対する感覚などを養う。
- ・自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を養う。
- ・様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造力の芽生えを養う
- ・健康や安全などの日常生活に必要な基本的な習慣や態度、心身の健康の基礎を養う。

### 2019年度の事業概要

今年度は幼保連携型認定こども園SHINJOとなり1号認定の子どもを受け入れ、課外活動や外部講師による英語教室も行ってきた。4月定員105名の所1号認定3名、2号3号認定86名合計89名で始まり、年度末の3月には1号認定6名、2号3号認定108名合計114名の園児数となった。また、昨年同様、青森県による「こどもの健康づくり体制支援事業」に関わり講師としてBLUE TOKYO KIDS総監督の川戸元貴先生が来園し、保護者参加での体操教室を行った他、青森県教育庁スポーツ健康課からの依頼で「笑顔でおやこ体操教室」も行った。青森ねぶた祭りの初日にはNTTのご厚意により年長児が親子で参加した。郷土の祭りに参加することができ、豊かな経験を得ることができた。

## 1 経営する事業

### 第2種社会福祉事業

#### ・一時預かり事業

継続的短時間就労・職業訓練等で一時的に保育の必要な児童の保育や保護者の疾病・看護・出産・冠婚葬祭・等による緊急時の児童の保育、育児に伴う心理的肉体的負担を解消する当の理由による一時預かり事業への取り組みにより地域における児童の福祉の増進を図っている。

#### 利用実績延べ人数(一般型)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
4時間未満	5	5	4	7	6	9
4時間以上	4	16	20	16	13	9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4時間未満	9	8	1	7	8	1
4時間以上	14	3	0	3	2	0
年間延べ利用児童数						170

#### 利用実績延べ人数(幼稚園型)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
8時間以内	2	0	2	5	16	28
8時間超	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8時間以内	32	26	27	19	14	20
8時間超	0	0	0	0	0	0
年間延べ利用児童数						191

#### 特別保育事業

##### ・障がい児保育事業(ふれあい保育事業)

「障害のある子もない子も当たり前」いまでは障害をひとつの個性としてごく自然な状態で定着している。今年度は3歳児に2名4歳児に1名障がい児保育対象児童在籍。

##### ・延長保育促進事業

就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要に対応することにより、児童の福祉の増進に寄与していきたい。

青森市の郊外に位置する当園は、保護者の通勤時間もかかるため、延長保育を実施することにより児童の情緒の安定をはかることができ、保護者の負担軽減に寄与することができた。

## 利用実績延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
短時間	0	8	11	12	78	67
標準時間	55	55	47	38	29	39
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短時間	71	37	49	51	32	53
標準時間	28	37	69	64	56	56
年間延べ利用児童数						1042

## 地域交流事業

### ・世代間交流事業

幼保連携型認定子ども園が多様化する教育・保育の需要に対応するとともに、地域に開かれた社会資源として幼保連携型認定子ども園の有する専門的機能を地域住民のために活用している。

### ・異年齢児交流事業

当園の行事への参加、西部市民センターでの交流等、幅広く地域に開かれた資源として活動し寄与していった。

## 2 施設詳細

開園時間	7:00~19:00 保育標準時間利用者のかたは、18:00以降有料 1号認定利用者の方は、教育時間終了後から18:00は有料 保育短時間利用者の方は16:00から有料
受け入れ年齢	生後43日から
定員	1号認定子ども15名 2号認定子ども45名 3号認定子ども45名

## 3 クラス編成

### (1) (2020年3月1日時点)

クラス名	年齢	児童数(1号認定)	児童数(2. 3号認定)
ZERO ROOM	0歳児		18名
ONE ROOM	1歳児		19名
TWO ROOM	2歳児	1名	18名
THREE ROOM	3歳児	5名	18名

FOUR ROOM	4歳児		18名
FIVE ROOM	5歳児		17名
計		6名	108名

#### 4 年間行事

4月	入園式	10月	運動会 <sup>世</sup>
5月	保育参観日・親子のひろば <sup>異</sup> 劇団鑑賞 <sup>異</sup> ・内科検診・歯科検診	月	親子のひろば・内科検診 歯科検診
		12月	お遊戯会 <sup>世</sup> クリスマスケーキ手作りケーキ 老人施設訪問 <sup>世</sup>
6月	総合避難訓練・プラネタリウム 親子バス遠足 <sup>異</sup>	1月	雪上運動会・保育参観日 <sup>異</sup>
7月	ちびっこ夏祭り <sup>異</sup> ・ 老人施設訪問 <sup>世</sup>	2月	節分豆まき
8月	ねぶた祭り・浅虫水族館	3月	おひなさま記念撮影 手作りデザート 卒園式
9月	ラッセランド見学 歩く遠足 <sup>異</sup> ・劇団鑑賞 <sup>異</sup> 老人施設訪問 <sup>世</sup> 新城地区防災総合訓練(新城小学校)		

※ <sup>異</sup> は異年齢児交流事業 <sup>世</sup> は世代間交流事業

※ 毎月実施：避難訓練・誕生会

#### 5 健康管理

園児一人ひとりの発育発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長がとげられるよう次の点に取り組む

- ・ 日常養護と健康管理
- ・ 安全と事故防止
- ・ 病気の予防と早期発見
- ・ 健康指導と保健指導
- ・ 環境衛生

学校医 坂上 絢一郎

(慈恵会病院嘱託医)

学校歯科医 折笠 和俊

(おりかさクリニック)

学校薬剤師 尾崎 智子 (株式会社青森調剤センター)

- ◎ 健康診断 年2回実施
- ◎ 歯科健診 年2回実施
- ◎ 発育測定 毎月実施
- ◎ 手洗い 歯磨き指導 日常実施

## 6 衛生管理

感性症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

## 7 栄養管理 (PCソフトによる栄養管理)

◇ 年齢別構成表及び給与栄養目標量 (1人当たり)

区分	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
1~2歳 児	450	11.3~ 22.5	10.0~ 15.0	200	2.3	200	0.25	0.30	20
3~5歳 児	400	11.9~ 26.5	12.7~ 19.2	267	2.4	203	0.29	0.35	20

栄養士による給食献立表を基に給食を提供。離乳食は個人に添った進み方をしいく。また、アレルギー児の除去食もそれぞれに対応をし、保護者・保育教諭・栄養士と話し合いながら進めていき除去食も少なくなっている。

## ◇食育の推進

各ROOMや玄関先に献立表を掲示することで次回の給食への期待感を持ち、親子の会話にもつながる。また、保護者参加でカレー作りをし栄養士からカレーの栄養素を聞くなど身近な食品の中に含まれている体に大切なものを子どもと保護者と一緒に確認することが出来た。また、普段のから作ってくれる人への感謝や大事に食べるという事が学べるよう配慮していった。

## 8 職員の処遇 (2020年3月1日)

園長1名、副園長1名、主幹教諭2名、保育教諭15名、パート保育教諭6名、准看護師1名、栄養士1名、調理員2名、用務員1名、運転手(兼務)

職名	氏名	職務内容
園長	竹内真弓美	園の業務を統括する
副園長	山本千恵子	園長業務補佐・園全体の環境整備や運営管理業務を統括する
主任保育教諭	土岐美穂 新山将平	保護者・地域社会との連絡調整・職員の助言・指導補佐行事に関する計画の作成実地
5歳児 保健衛生・安全対策 幼児クラスリーダー	竹内玲子	園内外の感染症対策・災害時対応研修担当 避難訓練立案実施 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う

担当	保育教諭	尾野綾子 沼倉江利子	5歳児クラスの運営・管理・園児の健康管理及び計画・指導 クラスの運営・管理・園児の健康管理補助
4歳児担当	音楽クラスリーダー	富樫凜	さくらさくらんぼリズム運動の計画、園内研修の指導 教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う
3歳児担当	年少クラスリーダー 保育教諭	雪田和佳菜 三浦悠希 溝江八重子	教育及び保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり・延長保育担当・送迎バス担当
2歳児担当	食育アレルギーリーダー・未満児クラスリーダー 保育教諭	木立静夏 赤石まゆみ 阿部京子 佐藤沙織	保護者支援に関する研修及び子育て支援に関する支援の研修担当。一時預かり・延長保育担当 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 一時預かり・送迎バス担当 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保育業務の補佐・一時預かり担当
1歳児担当	保護者支援リーダー 障がい児保育リーダー	森 寿子 成田真紀子 平田華鈴 高谷晶子 中川彩香	保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保護者支援に関する事項の研修担当。一時預かり・延長保育担当 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 障がい児に関する研修担当 さくらさくらんぼリズム運動の計画・保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び 家庭連絡等の業務を行う 保育業務の補佐一時預かり・延長保育担当 保育業務の補佐
0歳児担当	乳児クラスリーダー 音楽リズムリーダー 保育教諭 看護師	岩崎千恵子 鹿内琴美 長谷川はるか 毛利春菜 小山内有紗 鈴木久美子	0歳児クラスの運営・園児の健康及び計画・立案・指導・離乳食に関する事項、 延長保育担当・一時預かり担当 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 延長保育担当 保育に従事しその計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う 保育業務の補佐・一時預かり担当 園児の健康管理・ケガ病気への予防の対策・対応
給食	栄養士 調理員	八木橋メイ子 木村由布子 三浦富子	給食業務の総括管理・献立表の作成及調理の実施水具食器の保管・管理 調理実地の補充緒・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備 調理実地の補充緒・給食業務補助・水具食器の保管・管理・調理室清掃整備



用務員	増田章子	園内の清掃担当
-----	------	---------

## 9 健康管理

健康診断 年1回実施（指定健康診断医 工藤内科クリニック）\*40歳以上付加項目検査  
各種会議等

職員会議	月1回実施
給食会議	月1回実施
クラスミーティング	月1回実施

## 10 研修計画

職員全体の質の向上をめざし、専門性の知識を高めるため研修に参加し、自己研鑽に務めていく。

### ① 職場研修

キャリアパス研修や園外研修で得た知識を職員がリーダーとなり、園内研修として学び、共通理解し深めていった。また、法人の研修委員による研修にも参加した。

### ② 自己評価を行い、日々の保育実践や業務を真摯に振り返り、評価や改善向上のための行動指針としていった。

## 11 災害対策

日本防災による火災報知器等の保守点検（年2回）と有事（自然災害等）の備蓄用品（発電機、災害用非常灯（スミスライト）、テント、飲料水、食品等）の点検整備を行った。

### ◇ 避難訓練年間計画

月	想定	内容
4月	火災 不審者	給食室からの火災発生による屋外避難 園庭から不審者が侵入
5月	地震・水害	屋外へ避難
6月	火災（日本防災）	給食室からの火災発生による屋外避難
7月	地震	地震発生による避難（園庭）
8月	不審者 火災	正面玄関から不審者が侵入 園舎前の一般家屋からの火災発生による避難
9月	地震	新城小学校へ避難
10月	地震・水害	屋外へ避難
11月	火災（日本防災）	給食室からの火災発生による屋外避難
12月	火災	給食室からの火災発生による屋外避難
1月	地震	地震発生による屋外避難
2月	火災	園舎前の一般家屋からの火災発生による避難

	不審者	正面玄関から不審者が侵入
3月	地震	地震発生による屋外避難

## 1.2 地域社会との連携推進

- (1) 地域社会へ園（社会資源）としての機能を開放・還元ということで月に1度「こどもえんであそぼう」を未就学児や保育園などに入園をしていない方を対象に行い、スナップ写真を撮り、季節に合った製作物をプレゼントすると大変喜ばれた。また、子育て中の悩みを保育教諭に話たり同年齢の子どもとのふれあい、劇団観劇も喜んでもらった。その中で入園希望の保護者もいた。
- (2) 地域老人福祉施設等の訪問交流  
各イベントごとに子ども達が作った物をプレゼントした。また、今年度はインフルエンザ流行時期と重なりお遊戯会リハーサルへの来園はなかったが、お遊戯を披露しに施設に5歳児が訪問し喜ばれた。
- (3) 中高生の職場体験活動（ボランティア）及び養成校実習生の受け入れ。  
今年度も栄養士の実習も受け入れ、中学生のボランティア・インターシップ、高校生のインターシップでは保育教諭を目指している学生もいるなど、子ども達と触れ合うことが楽しいと感じられるようにしていった。

### 受け入れ実績

7/25	青森北高校(6名)	インターシップ
8/16～27	青森明の星短期大学(1名)	保育実習
8/19～23	青森中央短期大学(1名)	栄養士実習
9/4～6	青森浪岡高校(2名)	インターシップ
11/12～13	青森市立新城中学校(6名)	インターシップ
12/26	青森市立新城中学校(6名)	ボランティア
1/20～2/1	青森中央短期大学(1名)	保育実習

- (4) 西部市民センター・親子であそぼ！みんなおいでに保育教諭2人が参加し、地域の親子に向けて製作活動やふれあい遊び、出し物などをし地域の活動へ参加した。いろんな活動をすることで、楽しみに待っていてくれる参加者もいて、その際「こどもえんであそぼう」があることを伝えると、来てくれるようになり、夏祭りにも参加してくれるご家族もいた。

県内研修

令和元年度実績報告			
月日	氏名	用務地	主催
6月	木立静夏	ホテル青森	青森県保育連合会
6月	木立静夏	ホテル青森	青森県保育連合会
7月	岩崎 千恵子	ホテル青森	青森県保育連合会
7月	岩崎 千恵子	ホテル青森	青森県保育連合会
7月	八木橋メイ子	青森県立保健大学	青森県県立保健大学地域連携推進課
7月	平田華鈴	ホテル青森	青森県保育連合会
8月	木立静夏	青森県学校教育センター	文部科学省青森県教育委員会
9月	尾野綾子	ホテル青森	全国認定こども園協会
9月	平田華鈴	青森総合福祉センター	青森市子育て支援課こども支援センター
10月	鈴木久美子	ラ・プラス青い森	東青地域県民局地域健康福祉部保険総室(東地方保健所)
10月	成田真紀子	青森市西部市民センター	青森市子育て支援課こども支援センター
10月	三浦悠希	ホテル青森	青森県保育連合会
10月	阿部京子	青森保健大学	青森保健大学地域連携推進課
10月	山本千恵子	青森市総合福祉センター	青森市福祉部子育て支援課こども支援センター
10月	竹内玲子	ホテル青森	青森県保育連合会
11月	木村由布子	ホテル青森	青森県保育連合会
2月	八木橋メイ子	元気プラザ	青森市保健所健康づくり推進課

